

令和2年2月28日
原子力安全対策課
(31-42)
<15時記者発表>

高浜発電所3号機の定期検査状況について (蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査結果に対する調査状況)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

高浜発電所3号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力87.0万kW)は、令和2年1月6日から第24回定期検査を実施しているが、3台ある蒸気発生器(SG)の伝熱管全数^{※1}について渦流探傷検査(ECT)を実施した結果、B-SGの伝熱管1本、C-SGの伝熱管1本について、管支持板^{※2}部付近に外面(2次側)からの減肉とみられる有意な欠陥信号が認められた。

今後、有意な信号指示があった伝熱管の外観等を確認するため、小型カメラによる調査等を実施する。

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

※1 既施栓管を除きA-SGで3,272本、B-SGで3,248本、C-SGで3,262本、合計9,782本

※2 伝熱管を支持する部品

(令和2年2月18日 16時記者発表)

1. 調査状況

有意な信号指示のあった伝熱管の外観等を確認するため、小型カメラを用いてB、C-SG内部(2次側)の調査を行った。

- ・有意な信号指示があったB-SG伝熱管に幅約4mm、C-SG伝熱管に幅約1mmと約4mmの周方向のきずがあることを確認するとともに、当該伝熱管周辺の管支持板等に接触痕が認められた。
- ・ECTおよび外観確認の結果から、いずれのきずも摩耗減肉の可能性が高いことを確認した。
- ・きずの位置は、B-SG伝熱管については管支持板下端部付近、C-SG伝熱管については約1mm下と約3mm下であることを確認した。

2. 今後の予定

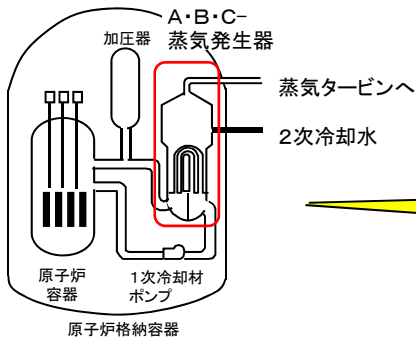
減肉の原因として異物の接触の可能性が考えられることから、引き続き、SG器内およびSGブローダウンシステムの調査を行う予定である。

問い合わせ先
原子力安全対策課（清水）
内線 2353・直通 0776(20)0314

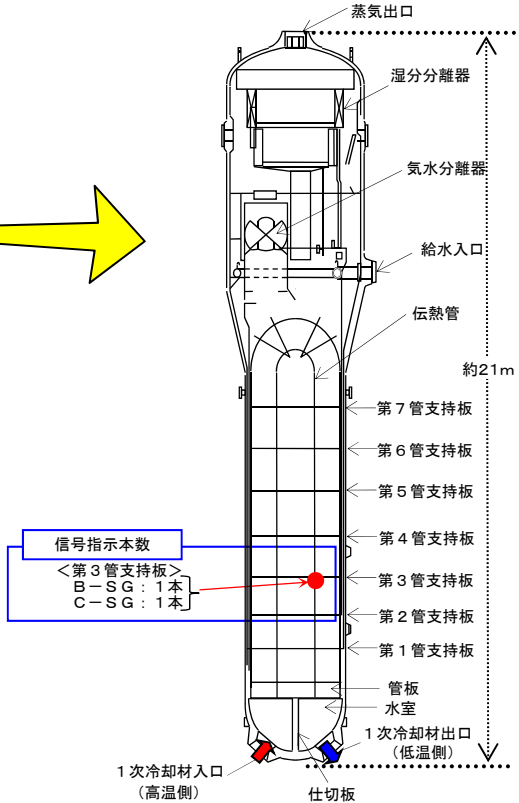
高浜発電所3号機の定期検査状況について (蒸気発生器伝熱管の損傷)

発生箇所

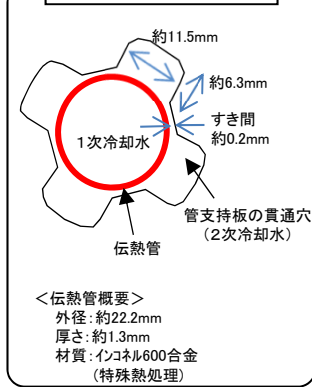
系統概要図



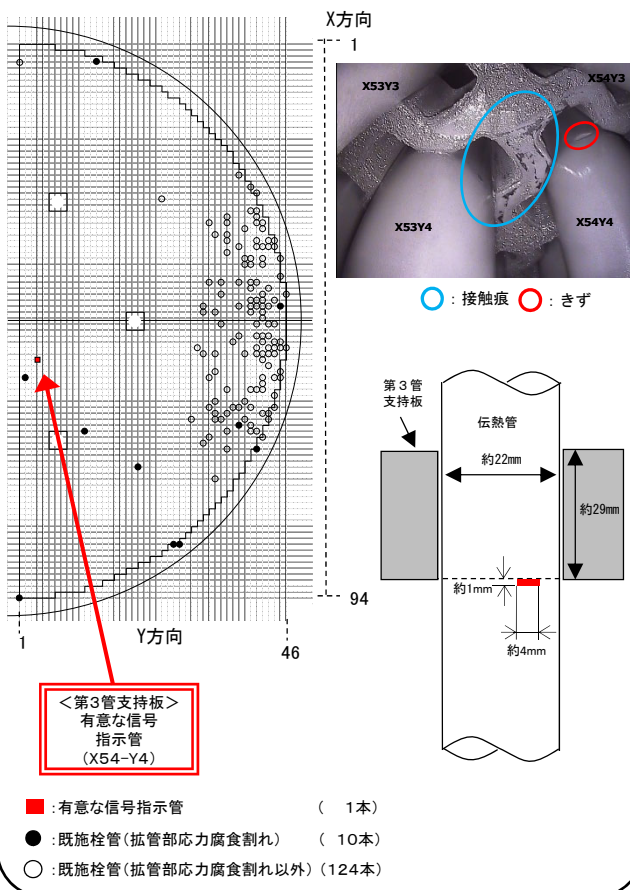
蒸気発生器の概要図



伝熱管の拡大平面図



B-蒸気発生器伝熱管(低温側)の状況



C-蒸気発生器伝熱管(低温側)の状況

